

特集 4 MASLD/MASHにおける 肝線維化マーカー



たまき のぶはる

玉城 信治

武蔵野赤十字病院 消化器内科 副部長

要旨

代謝機能障害関連脂肪性肝疾患 (MASLD) は肝硬変や肝細胞癌へと進展する可能性がある。肝線維化は MASLD における予後を規定する最も重要な因子であり、その評価が重要である。肝線維化の評価には、非侵襲的な方法として診断スコア (FIB-4 index)、血清マーカー (M2BPGi, ELFスコア)、画像診断 (エラストグラフィ) などが用いられ、これらを活用することで早期の診断と治療が可能になる。MASLD の治療にはまだ直接的な薬剤はないものの、糖尿病や脂質異常症の治療薬が炎症や線維化の改善に役立つ可能性があり、これらの肝線維化マーカーは治療効果のモニタリングにも活用できることが期待される。

キーワード

MASLD, 肝線維化, FIB-4 index, M2BPGi, ELFスコア, エラストグラフィ